

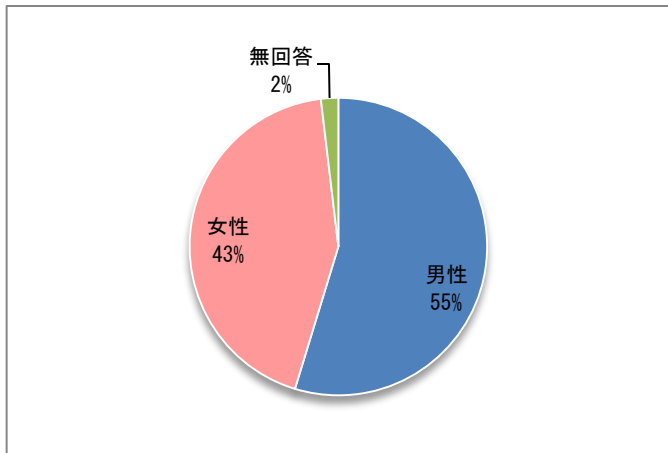
# JAXA タウンミーティング in 大分 開催報告

平成 30 年 1 月 14 日、JAXA タウンミーティング in 大分 ～未来に夢 宇宙から～ を開催しました。今回は、JAXA が取り組んでいる惑星探査や航空技術について話題を提供し、会場の参加者と活発な意見交換がなされました。

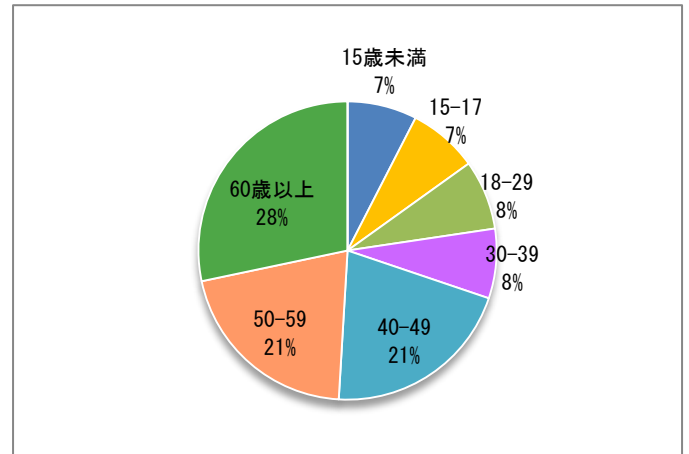
- 開催日時 平成 30 年 1 月 14 日（日） 13:30～16:00
- 会場 大分県立美術館 2階 研修室
- 参加者数 71 名
- 登壇者
  - ・ JAXA 宇宙科学研究所 太陽系科学研究系 教授  
BepiColombo プロジェクトチーム プロジェクトマネージャ 早川 基  
話題：「灼熱の惑星『水星』を探る」
  - ・ JAXA 航空技術部門 航空プログラムディレクタ 吉田 憲司  
話題：「JAXA 航空技術の最前線～夢の超音速旅客機を例として～」
- 進行コーディネーター
  - ・ JAXA 広報部長 庄司 義和

## アンケート回答者の属性（有効回答数：53）

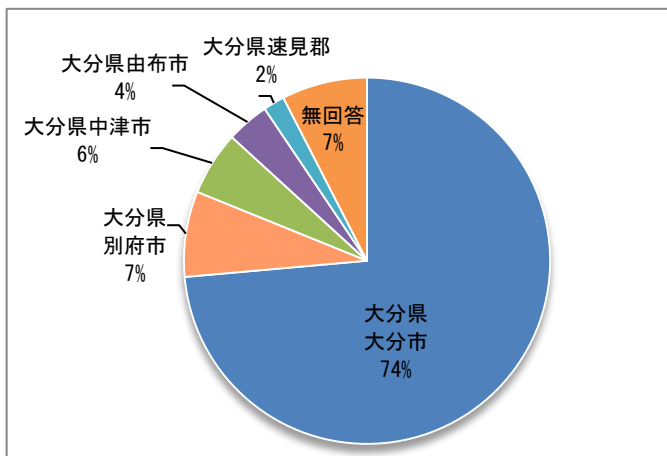
### 1. 性別



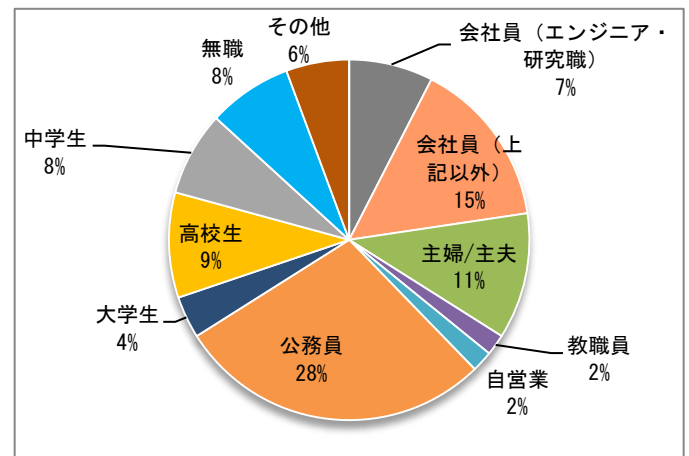
### 2. 年齢



### 3. 居住地



### 4. 職業



## いただいた主なご意見（意見投稿、アンケート記入分も含む）

### ■今回のタウンミーティングの話題に関連して

#### ◇灼熱の惑星『水星』を探る

- ・ 将来は宇宙開発の技術者を目指している。探査機にいろいろな工夫をしている話を聞いて面白かった。
- ・ 探索後のデータ活用法がわかるとさらに面白いと思います。
- ・ キュリオシティのように、科学的に意味のないような景色でも観察した画像をインターネット上にあげていただくと、楽しくて良いと思います。
- ・ 水星のことは何も知らなかったので色々なことを知れて良かったです。
- ・ 未来につながることで、ぜひ 長く繋いでいって欲しいと思います。
- ・ 長丁場になるが、大きな成果を挙げてもらいたい。その情報を定期的に聞きたい。
- ・ 太陽系の成り立ちが一步解明されることを期待します。
- ・ 宇宙探査について、米ソ欧に対して十分な日本の立地を確保してほしい。それは 50 年後かもしれないが、そのとき日本の産業が宇宙に関する技術でまた世界市場において活躍・利益を得ることができるように。宇宙探査は、ロマンだけでなく、実利も抜け目なく追い求めていけるフィールドと認知して頂きますようお願いします。
- ・ ロケット打ち上げの時にスポンサーを募って部品に広告を刻印するなどできないのかなと思いました。
- ・ まだ未知の水星について、自分の手で解析して研究できるチャンスがあるというのはすごくワクワクして、関係ない世界と思っていた宇宙を身近に感じることができました。
- ・ 宇宙探査は長い時間と莫大な資金が必要なことから、金星に限らず、日本一国で行えるような状況ではないと考えます。今後とも国際共同を積極的に進めていただきたい。
- ・ 若い人がたくさん事業にかかわれるように！（高校などをまわる方が確率が高いかも・・・）
- ・ 水星探査の必要性についてもう少し説明してほしい。
- ・ 水星の調査が、現実的に人間が生きていくためにどのように生かされるのかもっと知りたい。
- ・ 宇宙のロマンを感じました！日本は衛星はどんどん打ち上げるべきだと思います。
- ・ 途中の経過をホームページなどでわかりやすく広報してもらいたいと思います。
- ・ 耐熱技術の研究を進めてほしい。

#### ◇JAXA 航空技術の最前線～夢の超音速旅客機を例として～

- ・ 世界に先駆けて実現してください。日本製の飛行機に乗りたい。
- ・ JAXA=宇宙 みたいなイメージを持っていたが、航空系もやっていることを知れてよかった。
- ・ 技術の導入実績がわかるとさらに興味深くなるのではないのでしょうか
- ・ 6 時間でシンガポールやハワイなどにいけるようになると楽しみです！
- ・ 騒音のない航空機をぜひ作ってください。
- ・ 航空分野においても、JAXA の技術入ってます。とか、もっとアピールしてほしい。もっと表に出てもいいのでは。
- ・ 航空機分野があるとは知らなかった。基礎研究のようだが、今後の実用化を目指してほしい。
- ・ 大分県の企業も製造に関われるようになれば良いと思います。
- ・ 航空技術も日本にとって蓄積が少なく、障壁が高い分野。JAXA の研究成果が日本で幅広く活用される形に公開頂き、航空分野への障壁を下げるワークをお願いしたい。シミュレーションや応力計算など、Web

上で誰もが使えるようになったらかなり有用。

- ・ 超音速飛行機の速く移動できるメリットをドクターヘリのような人命救助にも活かせるの良いと思いました。短い滑走路でも飛び立てるようになる研究がすすむことを望みます。空中空港があれば、滑走路の問題は解決できるのかとも思いました。
- ・ 航空は宇宙より身近な内容ですが、であるがゆえに JAXA の研究成果として、実際の生活に与える影響や果実をより明確にしていただけたらと思いました。
- ・ 仕事などの面で移動の効率化や、さらなる安全性を高めることが重要。
- ・ いろんな技術が世界的にやや低下気味の中で、国策としても日本が認められるよう頑張ってもらいたい。
- ・ 超短時間で世界中を旅行できる飛行機ができてほしい。
- ・ 速く、安全に、また燃料をあまり使わない飛行機の開発を期待している。

## ■タウンミーティング、その他について

- ・ 施設見学をしてみたい。
- ・ 非常にためになりました。もっと若ければ一緒に研究してみたかったです。
- ・ なかなか難しい話が多かったですが、タウンミーティングなのでもっと若い人達の参加があるといいと思いました。
- ・ ロケットを飛ばしているといった漠然としたことしか知りませんでした。これからも タウンミーティングを続けて 広報してください。
- ・ 是非いろんなプロジェクトを紹介して欲しいです。
- ・ 宇宙探査にロマンを感じている市井の人々がこんなに多く居ることが知れたのがまず一つ勉強になったが、市民からの「提言」の機会という面では不発と感じた。今回の内容は JAXA の PR 色が強く（もちろんそれも有用だが）、何を目的に、どれくらいの予算で、その分野で JAXA は今どこにいて、将来こうなりたい、くらいは数値などで明確に説明すべき事項と思います。その中で、背景も含めた話題提供時間が短すぎる。2 分野とするとしても、午前・午後の 2 部制で、聴衆もそれに特化した募集の仕方をしていいと思う。無作為市民だけでなく、各地域の教員・エンジニア・経営層を一定数参加させたうえでの開催方法も良いのではと考えます。
- ・ 大分には科学館がなく、宇宙や航空について学べる機会が日頃ないので、ぜひまた大分にて開催してほしいです。
- ・ とても興味のある内容で楽しかったのですが、JAXA として抱える問題（資金や人材、施設、企業との協力や成果の扱い等）について現状を説明いただければ、もっと意見や提言も出やすかったのではないかと思いますし、それがタウンミーティングの趣旨ではないかと思いました。苦言を申し上げているのではなく、JAXA を含めて科学技術の振興は未来に向けて生きていくために絶対に必要なものと考えており、できる限りのご支援をしていきたいと思っているので、検討いただきたい。
- ・ JAXA' s の個人への配送サービスを再開していただけませんか。
- ・ 専門過ぎて難しいと最初は思ったが、今はとても身近に感じられる。これからも益々の研究、技術開発に期待します。
- ・ 資源のない日本では知恵を伸ばすのが最良と思われれます。

